

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 22 2011. 3. 29 13:45 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

◇岩手民医連 大船渡・陸前高田への長期支援に 踏み出しています!!◇

岩手民医連では、北海道・青森・秋田・岩手の仲間の支援も受け、大船渡・陸前高田への医療支援・生活支援を開始しています。民医連事業所のない地域であり、行政や各団体と協力・協同を広げながらの支援活動になります。現地では、藤末会長の訴えを職員・組合員で徹底し、団結を固めています。

= 岩手民医連の職員、盛岡医療生協組合員のみなさんへ =

被災から 15 日の日に 全日本民医連会長 藤末 衛

岩手民医連の仲間のみなさん、盛岡医療生協組合員のみなさん。あらためて、震災のお見舞いを申し上げます。私は、3月14日宮城に入り、続いて18日に盛岡、大船渡、陸前高田に入り、その惨状を目の当たりにしました。甚大な被害が同時に多発し、広範囲で複雑な災害となっていました。この時すでに岩手民医連の幹部は三陸海岸地域の視察を終えて、19日より小野寺理事長を先頭にマイクロバスでの被災地救援活動を開始されました。全日本民医連対策本部は、地震直後から被害の大きかった民医連の事業所をささえ、そしてすべての被災者が救援されるよう医療チームの派遣をすすめ、他の団体と協力してきました。

今回の大震災による被災者の避難生活は、規模が大きく、広域化、長期化します。超高齢社会を襲った災害のため、地震では命をとりとめたものの過酷な避難生活の中で死亡するという震災関連死がでています。私たちは、憲法25条を持つ国の人間として、組織として、日々刻々と変わる被災者、被災地の現状から目を離さず、すべての被災者の人権擁護の視点で医療・介護の活動をすすめます。被災地の人びとに必要なことは、心身の状態悪化を防ぎ、少しずつでも健康を取り戻すケアです。そのためには、少しでも安楽な環境、睡眠、温かい食べ物と入浴など、普通の生活に近づけるアイデアと行動が必要です。地域で、避難所で、共同組織のみなさんとともに行動しましょう。

私たち民医連は、規模の大小はあっても県連合会をつくり、その県全体の医療や介護、社会保障が充実することを願って活動しています。全日本民医連は、ひとたび災害や困難が起こったときには当該県連の事業所を応援し、憲法25条、人権擁護の視点で活動してきました。余裕があるから支援をするのではなく、余裕がなくとも身を削って分かち合い支え合うのが民医連の連帯であり、医療と介護に携わる者の使命です。被害の大きい地域が民医連の事業所から遠方である時には、被災地に近い協力してもらえらる団体や個人の力を借りながら救援活動をすすめる必要があります。被害が広域であるだけに民医連だけで何かができるわけではありません。他の団体、個人、行政との協力と連携こそが重要です。すべての被災者救済の視点、憲法25条の視点でふんばりましょう。

支援物資の今後の取り扱いについて

この間の支援物資のご協力、誠にありがとうございます。引き続きそれぞれの被災地の事情に合わせて、長期にわたる支援が求められています。ついては、震災支援物資の今後の取り扱いについて、3/29付ア号通達427号でご案内していますので、よろしくお願ひします(☆添付ファイルをご覧ください)。

◇全日本民医連支援者定期便 4月中はこれまで通り運行 します。(全日本民医連9:00発)◇

支援者到達(29日現在): 1209人(医師233人、看護師人374、事務350人)!
支援募金: 6,800万円突破!

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。